

## 新年のご挨拶



令和六年一月吉日

一般財団法人日本健診財団

理事長 岡部 好伸

新年あけましておめでとうございます。皆様には健やかに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。また、旧年中は弊財団に対し多大なるご支援とご協力を賜りましたことに心より御礼申し上げます。

長年人々の生活を苦しめてきました新型コロナウイルス感染症も、昨年5月に5類に引き下げられ、法の下行政が様々な要請・関与をしていく仕組みから、個人の選択を尊重しつつ、自主的な取組をベースとした感染対策に変わりました。このことから健診を通じて人々の健康を担う一機関の長としては、より一層皆様への予防医療の責務を痛感するとともに、健診におけるこの取組の重要性を感じております。

さて、本年の甲辰(きのえたつ)は、十干十二支の41番目の年にあたるそうで、十干の1番目である「甲」と十二支の5番目である「辰」が重なります。甲は甲殻の「甲」の文字から「守り」を連想させ、物事に対して耐え忍ぶ状態を表す文字です。他に物事の始まりや成長も意味します。辰は竜(龍)を意味し、十二支の中で唯一空想上の生物で、龍は中国で権力・隆盛の象徴として親しまれていたと言われています。また辰は「振」という文字にも由来し、あらゆる生物が振動し成長して活力が旺盛になる状態を表します。この甲と辰が合わさる本年は、双方の「成長」の意味が示すように、新たな時代が動く年となるのか、または「守り」の年になるのかは分かりませんが、是非次につながるような「昇り龍」の年にしていきたいものです。

結びに、この一年が新たな発展と飛躍の年になりますよう祈念いたしました年頭のご挨拶といたします。どうぞ本年もあたたかいご支援とご助言をこころよりお願い申し上げます。





## 広報誌「バランス」は 創刊50号を迎えました

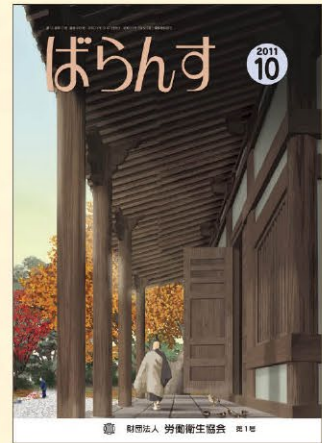


一般財団法人日本健診財団の広報誌「バランス」は、今号で50号を迎えました。これもひとえにみなさまのご支援によるものと深く感謝しております。

弊財団が創立し40周年の節目である2011年10月に発行された創刊号は、「健康情報誌『ばらんす』」という名称でスタートしました。創刊当時は3月に未曾有の大震災が発生した年でもあり、当時の理事長挨拶を始め職員コラム等は全て東日本大震災に関連したモノクロの記事を掲載しておりました。

また2014年の春号からは表紙や記事内容を一新しフルカラー化、タイトルも現在の『バランス』に変えており、この取り組みは2024年になった現在も続いております。これからも弊財団では地域に皆さまへ、健康に役立つ情報を発信して参ります。

今後ともよろしくお願い致します。



創刊当時の「ばらんす」  
(2011年10月号)



### 長野県支部の健診施設名称が変わりました

上伊那郡辰野(たつの)町にある弊財団施設「ほたるの里健診センター」は、今年の干支である「辰年」1月より「信州たつの健診プラザ」として新たにスタートいたしました。辰(龍)にまつわる故事成語やことわざはたくさんありますが、「龍の水を得る如し」という言葉にありますように、所(辰野町)や時機(辰年)を得て大いに活躍すべく新名称の施設「信州たつの健診プラザ」を今後ともご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

